

解釈でどうにでもなるなら・・・

歴代政権は「憲法九条は自衛権を否定するものではないが、集団的自衛権は行使できない。それは、他国の紛争に武力を行使することになるから」と解釈し、国会で報告していた。

もし、安倍自公政権のように、従来の解釈を、内閣が自由に変えることが出来るとしたらどうなるだろう？

集団的自衛権の行使には国会の事前承認が必要と自公は合意。だが、憲法解釈を勝手に変える政権なら、事前承認の必要性など勝手に解釈してパスしてしまおうのでは？

外国はどう思うだろう？憲法さえ勝手に解釈する安倍自公政権なら、条約を結んでも、勝手に解釈を変えるのではありませんか？外国は日本という国を信用しなくなるのでは？

みなさんはどう思われますか？

ガイドラインでは

安倍自公政権は日米軍事協力のガイドラインを変えた。集団的自衛権行使や、安保条約の範囲を超えて世界的な規模で、米軍に自衛隊が協力することに。

これは事実上の日米安保条約の改定だが、

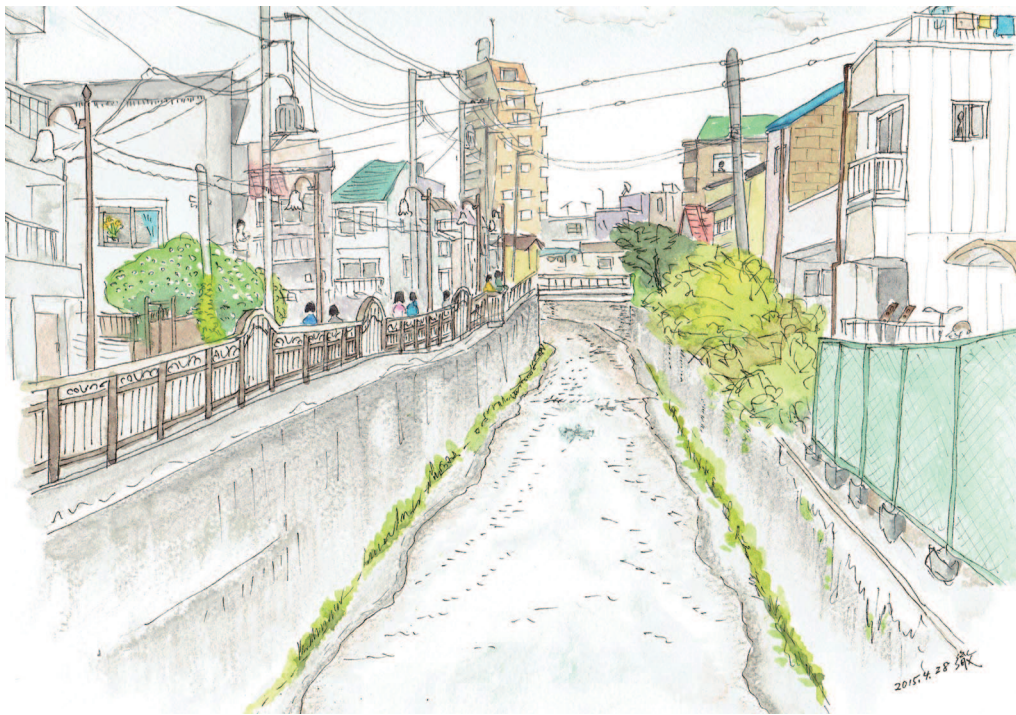
国会での論議も踏まえていない。条約の改定には国会の承認が必要なのに・・・。

解釈でどうにでも

ガイドラインでは

安倍自公政権は日米軍事協力のガイドラインを変えた。集団的自衛権行使や、安保条約の範囲を超えて世界的な規模で、米軍に自衛隊が協力することに。

これは事実上の日米安保条約の改定だが、



みょうしようじ
妙正寺川

東京都新宿区中井駅近く
二〇一五年四月

妙正寺川は杉並区の妙正寺池から流れ出て東流する。西武新宿線中井駅の近くを通り、神田川に合流する。

周辺は元は畑だったのが、急速に都市化。雨になると川が溢れるようになった。都市化の後では拡幅もできない。効率よく雨水を流そうと、兩岸も底も平らにコンクリートで固めた。まるで巨大なU字溝だ。

流域の下水道が整った今、水は澄み、時折カルガモが泳ぐ。もし、河岸が緑で、川底が凸凹して澱みがあれば、魚も鳥も沢山棲むだろう。美しいカワセミの姿を見ることができないのではないだろうか？

生まれた時から、こんな川しか見ることがなかったのだろうか。近くの目白大学の学生たちが、川には目もくれず駅に向かって歩いていた。